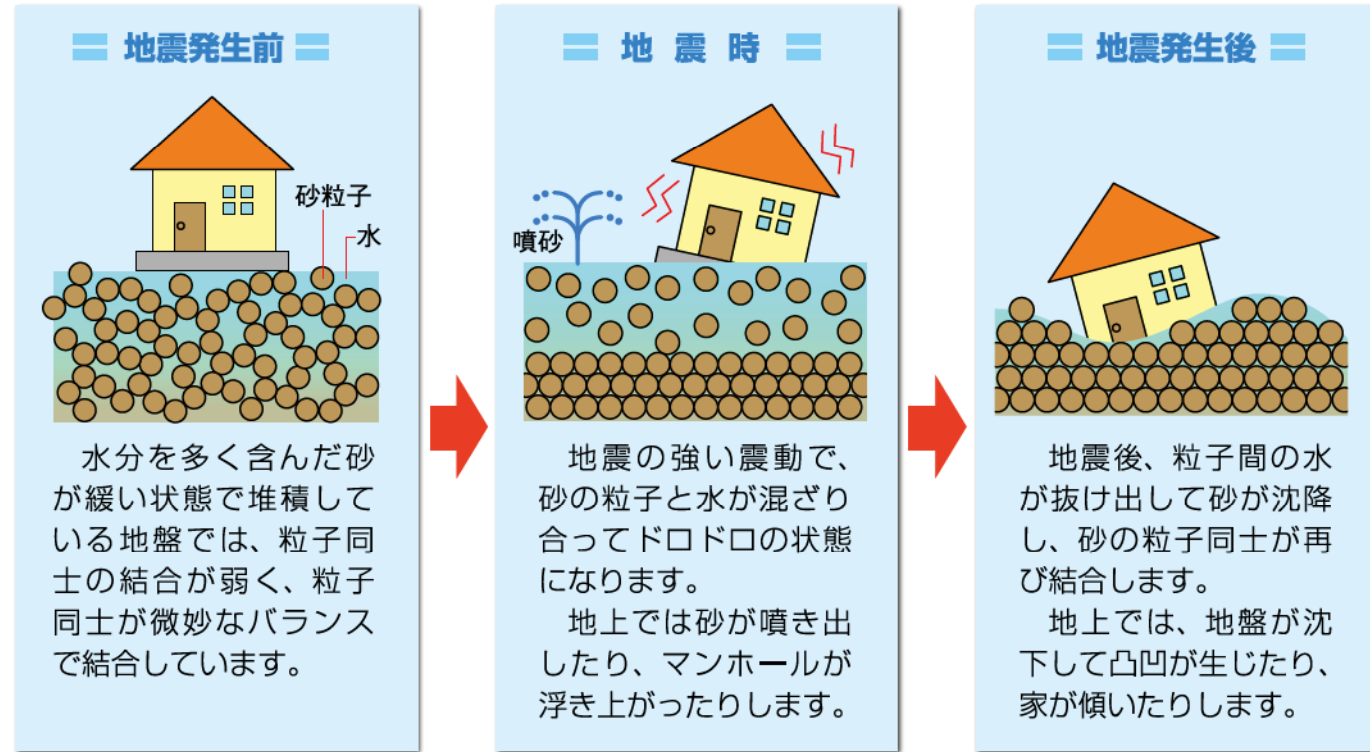


液状化危険度マップ

「液状化危険度マップ」とは、「養老・桑名・四日市断層帯地震」が発生した場合に、神戸町内で予測される地盤の液状化の程度を表した地図です。

地盤の液状化とは？

地盤の液状化とは、地震の揺れによって地盤が一時的に液体のようになってしまう現象です。地盤の液状化は、埋立地や三角州、旧河道など、地下水位が高く緩い砂が堆積している地盤で発生しやすい傾向にあります。

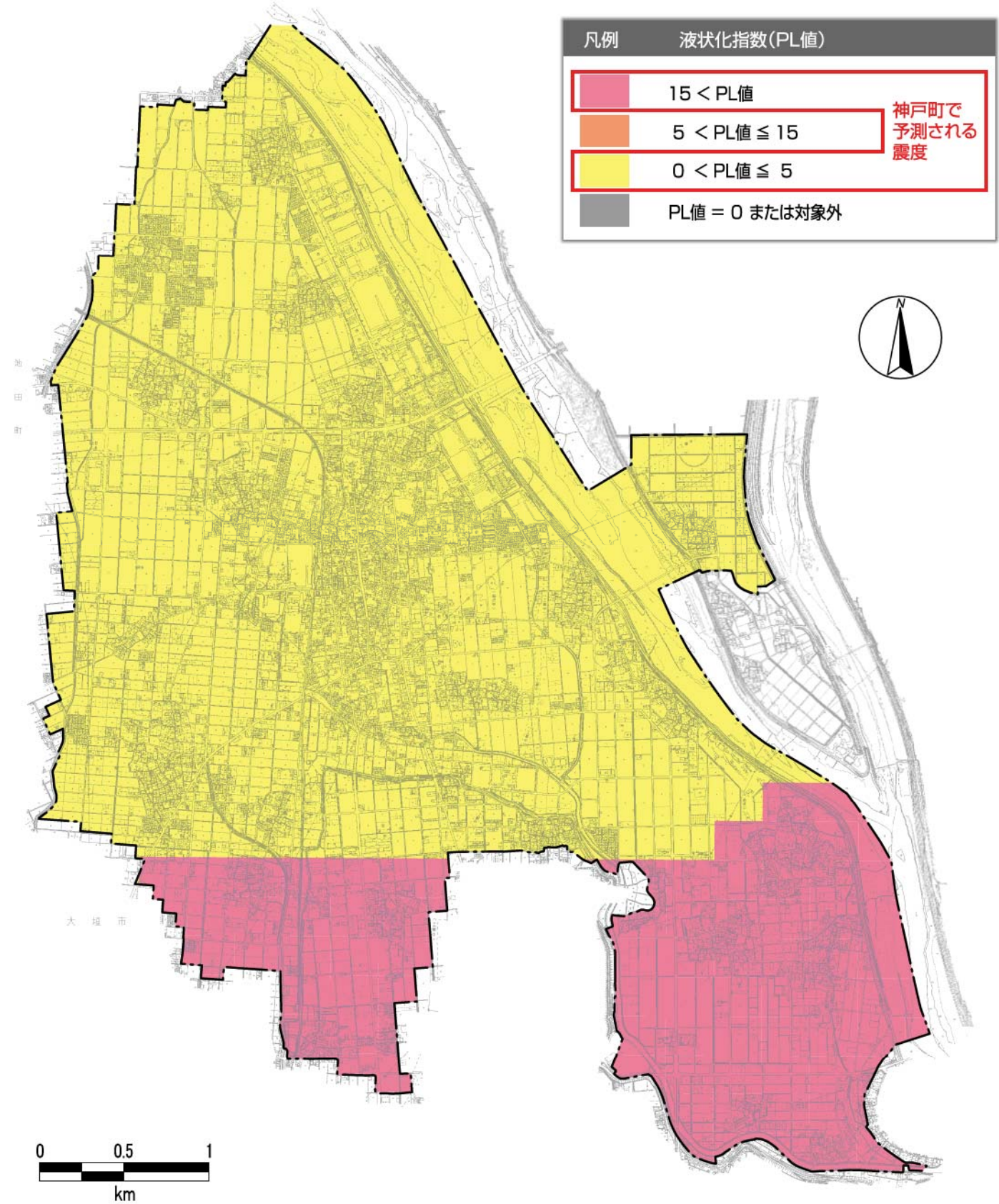


PL値と液状化の可能性の関係

PL値（液状化指数）と液状化の可能性の関係は、国土庁防災局の「液状化地域ゾーニングマニュアル（H10年度版）」において、以下のように示されています。

PL値（液状化指数）とは地盤の液状化の可能性を示すものであり、可能性が高いと評価されているすべての地域で、液状化が発生するというものではありません。このため、実際に地震が発生した場合、地図に示したとおりの被害状況になるとは限りません。

PL値	液状化の可能性
15.0 < PL	液状化発生の可能性が高い
5.0 < PL ≤ 15.0	液状化発生の可能性がある
0.0 < PL ≤ 5.0	液状化発生の可能性が低い
PL = 0.0（又は対象外）	液状化発生の可能性が極めて低い



この地図は、岐阜県が平成23年～24年に実施した被害想定調査の結果を基本に作成しています。